

Voices

ヴォーリスだより



- 特集 -
2024年度 入職式

(撮影) ヴォーリス記念病院 チャペル

巻頭言

「医師の働き方改革にあたり
ご協力をお願い」

公益財団法人 近江兄弟社
ヴォーリス記念病院
院長 五月女 隆男



Vol.168

2024年5月発行

基本理念

キリスト教の「隣人愛」と「奉仕」の業を、医療を通して実践します。
- 私たちは、基本理念を大切にします。 -



「医師の働き方改革にあたり ご協力のお願い」



院長 五月女 隆男

新緑が目には鮮やかな季節を迎えました。生命力のみなぎるこの季節を大切に生きたいものです。

いよいよこの4月から医師の働き方改革が開始されました。すでに報道等で目にされていると思いますが、要約しますと時間外労働時間を月80時間までに制限するものであります。年間にすると960時間、あまり実感がわかないとは思いますが、ひと月20日間で出勤すると仮定すれば1日4時間までの残業が許可されるというものです。ただし管理職にある医師には時間外労働自体が存在しませんのであてはまりません。とくに急性期病院ではこの時間内に医師の労働を収めることは経験上困難を要するのではないのでしょうか。若手の先生方が外科や内科、産婦人科、小児科、救急科等の忙しい診療科よりも身体的負担の少ない診療科を好む傾向にあることも事実としてあります。そのため過少人員での診療継続がさらなる負担の増加につながるという悪循環に陥るわけです。過労死ラインが時間設定の根拠となっており、医師の生活の向上に繋がるためのものではないということも理解しておくことが重要です。有効な施策として何があるかをもう少し議論する必要もあり、向こう数年間で明らかになる問題点に対応してもらいたいものです。

韓国では専攻医を中心とした大規模なストライキが勃発し、残念ながら政府の対策も空振りに終わり医療空白が生じてしまいました。既得権益を維持したい医師の思惑と単純な医師増員計画で対応しようとした政府の意思の相違から生まれたもので、対話のなさが浮き彫りとなりました。対岸の火事ではなく、日本の医療界も激震となりうる医師の働き方改革ですので、実効性のあるものとなることを祈っております。

そこで医療を受けられる側すなわち患者さまにお願いです。必要なときに必要な医療を受けられるように、適切な病院選択と適切な時間選択をお願い致します。むやみな時間外診療の要請は急性期病院の負担を増やす一方、患者さまにとっては検査体制が整っていない時間や、対応する医師の専門分野等により十分な医療を受けられないケースもでてきます。双方にとって不利な診療は推奨されるものではありません。地域包括医療システムの成熟を期待しているところですが、今後は病院と診療所の役割がさらに明確化されます。病院に限っても急性期病院と後方支援病院の分別化が進んでいきます。日本国民は皆保険制度により病院へのアクセスが容易で、手軽に診療を受けられる恩恵にあずかっております。隣国のような医療崩壊を防ぐ意味においても、個人の意識の向上が求められ、常時適切な医療が提供されることを望んでおります。

当院でも研修医の先生が研修に来られております。医師の成長は自己研鑽・自己学習だけでなく、患者さまに育ててもらふことにより加速します。厳しくそして優しく接していただき、一人でも多くの良医が育てられることを期待しております。

チャブレンだより③ 「傷跡」

チャブレン 中村信雄

私の左膝には傷跡があります。子どもの頃にできたものです。当時は痛くて、つらくて、ちよっぴり恥ずかしさもありましたが、今は特別な思いがあります。

自転車の補助輪を外して目新しい景色を楽しんでいたとき、買い物袋を持って歩く母親の姿が遠くに見えました。「助けてあげよう」と思い、ペダルを強く踏みました。流行りの唄を歌いながら。

母親まであと15m。そこで景色が急に変わりました。側溝のふたに滑り、転倒したのです。足からは大出血。母親は我が子のもとに駆けつけてくれました。泣いていた私をなだめ、家に連れ帰り、手当てをしてくれました。

もし母親を助けることができていたなら、傷跡もなく私の記憶から消え去ったことでしょう。しかし、この傷跡があるから、かけがえのない子どもの時間があったことを、そして確かに愛されていたことを鮮明に思い出すのです。私に刻み込まれた母親の愛です。子どもの日と母の日があるこの5月、皆様の人生における幸せを願い祈っています。



礼拝堂の階段を下りたところに年月を経てできたひび割れ。そこに咲いた紫色の花。小さくて人に気づかれず踏まれることがあっても、また顔を上げていました。名前も分かりません。でも、あなたに会えて良かったです。

糖尿病性腎症について

糖尿病・内分泌内科・総合診療科 伊藤 哲郎

糖尿病はその名の通り「尿に糖が出る」ことが問題なのではなく、血糖値の高い状態が続くことによる「**全身の血管障害**」が恐ろしい病気であり、近年は「糖尿病という病名は変更するべきだ。」という議論も出ているほどです。まずは細い血管から破壊されるため、細い血管が集まっている神経、網膜(眼)、腎臓が順に悪くなるのは有名(し・め・じと覚えます)で、3大合併症と呼ばれますが、もちろん太めの血管も徐々に障害されますので心筋梗塞、脳梗塞、脳出血、認知症などはもちろん、がんのリスクも上がることが知られています。

糖尿病性腎症は本邦の人工透析の原因疾患の第1位(透析新規導入の約4割を占める)であり、透析になってしまうと通院が大変だけでなく、全身の血管が相応に障害されているため常に突然死のリスクを抱えることとなります。

上記の通り糖尿病治療の主目的は「**血管を保護すること**」ですので血圧、脂質(特にLDL-C)の管理と禁煙が重要です。当院の糖尿病外来では血管リスクの管理はもちろん定期的な血液検査・尿検査結果に応じて腎臓内科専門医との早期連携を行っています。

糖尿病性腎症は適切な対応で進行を遅らせることができます。定期的な通院と生活習慣の改善(減量・減塩)が大切です。

予約ご案内

【糖尿病内科・内分泌内科】
総合診療科

水曜日・土曜日

診察：9時～12時 ★予約制

当院の予約診の受診をご希望の方は、下記よりご予約をお願い致します。予約多数の場合は、希望日に予約がお取りできないことがありますので、お早めにお電話下さい。

Tel : 0570-01-5211

月～土曜日(祝祭日・年末年始を除く)

14:00～17:00



特集

2024年度 入職式

4月1日（月）
入職式、就任式、新年度礼拝



桜のつぼみがほころびかけた暖かい陽ざしの中、当院チャペルにて入職式を執り行いました。当院では新入職18名、昨年よりの中途入職23名の総勢41名の皆さんを共に働く仲間として迎え入れることができました。

最初に、中村チャプレン司式のもと、誓約式に臨んだ後、公益財団法人近江兄弟社の三ッ浪 健一理事長、五月女 隆男院長より歓迎と奨励の言葉を頂きました。

その後、新入職員を代表し、看護師 松井 葵咲さんより挨拶をして頂きました。

新しい仲間と共に、職員一同、知識と技術の習得に努め、地域医療のさらなる発展に貢献できるよう、精進していきたいと思えます。

ご入職おめでとうございます!!



入職式を迎えて、看護師になり働くことに緊張しています。しかし、優しく病院の仕組みや、兄弟社グループのことを教えてください先輩方、心強い同期のおかげで緊張もほぐれてきました。隣人愛を忘れず精進して参ります。

看護師 安達 奈那

理事長 三ッ浪 健一



院長 五月女 隆男



この度はヴォーリス記念病院の一員になれたことに大変嬉しく思います。寄り添う気持ちを大切に、患者様や多職種の方々と信頼関係を築きながら、チームで患者様のニーズに合った医療が提供できるよう、誠心誠意努めてまいります。

理学療法士 東野 遥

報告①「2023年度 医療懇談会」

3月21日（木）17：30～19：00

会場：ヴォーリス記念病院 チャペル ※Zoomによるオンライン同時開催

地域の医療機関とのさらなる連携強化を目的として、近隣の病院、開業医の皆様をお招きし、医療懇談会を開催致しました。

会場には、近江八幡市立総合医療センターから6名、開業医の先生4名の方が、またZoomによるオンラインでは、開業医の先生12名の方がご参加下さいました。講演会では、参加者から質問もあり有意義な時間でした。

6年ぶりの開催となりました「医療懇談会」では、患者さんが良質な医療サービスを受けられるよう、適切かつ効率的な医療提供体制を確立する為、さらなる連携が必要であると認識した会となりました。



●プログラム●

【ご挨拶】 公益財団法人 近江兄弟社 理事長 三ツ浪 健一

【開会の辞】 近江八幡市蒲生郡医師会 会長 松澤 正典 先生

【病院紹介】 「当院の機能と今後の展望」

ヴォーリス記念病院 院長 五月女 隆男

【講演会①】 「褥瘡治療・最新のトピックスと当院における取組み」

呼吸器外科、褥瘡外来 日本褥瘡学会 認定褥瘡医師 北野 晴久

【講演会②】 「2024年度 診療報酬改定について～当医療圏における影響や対策に関して～」

公益財団法人 日本医業経営コンサルタント協会 岡山県支部

株式会社未在コンサルティング 代表取締役 梅木 善之 氏

【閉会の辞】 近江八幡市立総合医療センター 病院事業管理者 宮下 浩明 先生

地域の皆さんが
住み慣れた地域や自宅で
いつまでも自分らしく
生きがいを持って
生き続けることができるよう
貢献していきます。



報告②「能登半島地震 災害支援活動報告会」

3月27日（水）12：00～13：30

会場：ヴォーリズ記念病院 チャペル

今年の元日に発生した能登半島地震において、各業界団体からの要請を受け当法人から4名の職員が災害支援活動に参加致しました。活動で得た経験を今後いつ起きるか分からない災害に備え情報共有を図ることを目的に報告会を開催致しました。

栄養食生活支援チーム



<参加者>

医師	平田 知大
管理栄養士	澤谷 久枝
薬剤師	新庄 安宏
看護師	小西 綾子



2024年1月1日の能登半島地震により多くの命が奪われ、建物にも甚大な被害がもたらしました。

今回、日本薬剤師会の要請により2月6日から5日間、薬剤師として石川県珠洲市の災害支援に関わる機会を得ましたので報告します。

現地入りして驚いたのが、1ヶ月経過しても道路が至る所で寸断されていることでした。通行止め、迂回で車両での移動が大きく制限されました。自らも被災者である地元の工事業者の方が、ほとんど休まず復旧工事にあたられたと聞きます。それでも市内の瓦礫は手つかずのままです。

今回の震災では家屋の倒壊で住む所を失った高齢の方が多く、上下水道も復旧しないままの底冷えする冬の避難所で過ごすことを余儀なくされました。珠洲市は市立病院に医療機能が集中し、医薬品を供給できる保険薬局が1件もないため、我々は医師や看護師のチームと連携し、受診が困難な被災者にお薬をお渡ししたり避難所に届けたりする活動を担いました。震災の影響で歯科医院はすべて閉院したため、珠洲市は歯科機能を喪失しています。僻地医療やインフラ復旧など課題も多く、先の長い道のりですが一刻も早い復興を願ってやみません。

薬剤師 新庄 安宏

移動薬局車両「モバイルファーマシー」



災害救護所



看護師ミーティング



滋賀県看護協会からの要請により、2/11～2/14の日程で1.5次避難所となっている『いしかわ総合スポーツセンター』に派遣され支援活動を行ってきました。

金沢市は能登半島と違い、地震の被害は殆どありません。いしかわ総合スポーツセンターはジムに一般市民が通う一方で、広々としたアリーナには畳2畳ほどのスペースのテントが立ち並び、そこに1人又は夫婦2人で入居しているといった状態でした。輪島市や珠洲市で被災された方々で、殆どが高齢者です。

避難されてきた方々に、種々の職種サポート体制が整っていました。私たち災害支援ナースは、医師・保健師・薬剤師・栄養士・介護士・ソーシャルワーカー等々と連携し健康管理を担います。診療の補助、処方依頼・介護認定の依頼の補助、衛生管理と多岐にわたります。高齢者の方が多いという事もあり、介護を必要とする方や、認知症の方もおられ、様々な日常生活のサポートも必要になります。そのような中でも、ここは生活の場。入居されている方々の自律の妨げとならないように活動しなければなりません。

私たちは、<傷病者を出さない。>を目標に上げ活動してきましたが、活動最終日に体調悪化で救急搬送する事態が起ってしまいました。しかし、私たちの活動によって早期に対応が出来たと思っています。私たちの活動が避難されてきた方のお役に立てたとも自負したいものです。その自負こそが活動の原動力となります。

災害支援ナースの活動を通して、1日も早い復興を祈ります。

看護師 小西 綾子

シリーズ「認知症③」

リハビリテーション技術科 作業療法士 宮本 優子

認知症の主な症状は、記憶力の低下、見当識の低下です。

- **記憶力の低下** ● 約束や予定を忘れる、食べたことを忘れる、話したことやエピソードを忘れる、新しいことが覚えられない
- **見当識の低下** ● 日にちや曜日がわからない、今いる場所がわからない、自分の年齢や人物との関係性がわからない

こんな状態に陥った時、不安になって何度も確認行為をしたくなる、思い出せないことを指摘されたり否定されたりすると怒りたくなる――その気持ちは想像するに容易いことです。認知症の一部は、性格変化も伴いますから、自分が自分でなくなるような感覚もあるかもしれません。

そんな不安やそれに伴ううつ状態、易怒性や攻撃性といった精神的不安定になりがちな認知症の方に行うリハビリには、主に次のようなものがあります。

①リアリティオリエンテーション

日にちや曜日・場所の確認をしたり、散歩や行事を通じて季節感を感じることで、今置かれている状況を理解できるような言葉かけをします。

②回想療法

最近の記憶は思い出せなくても、子どもの頃や青年期の頃の記憶はよく覚えておられ、生き生きと語ってくださいます。

③運動療法

ウォーキングやステップ練習などの軽い有酸素運動が有効です。動きのリズムに合わせて、簡単な計算(100から3を引いていくなど)や語想起(野菜の名前や都道府県の名前など)の課題を入れるのも効果的です。

④作業活動

編み物や書道、折り紙手芸など、その方に馴染みのあるものや単純作業の繰り返しであること、今の能力に合った難易度の作業を選ぶのが大切です。

⑤音楽療法やアロマテラピー

音楽やアロマテラピーは、聴覚や嗅覚を刺激し、リラックス効果も期待できます。

身近に認知症でお困りの方がおられたら、勧めてみてください。



管理栄養士ようちゃん
おススメ!

食事前のお口の体操

筆者は病院管理栄養士として従事しています。職業柄、色々な食事に関わる相談を受けます。最近になって自宅で家族の食事介助をしていて「口の中に溜まる」、「飲み込めない」というような「食べる力」が弱くなった際にどうしたらいいのか?という相談が増えてきました。

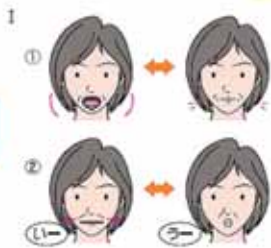
こういう場合は各個人にあった栄養補助食品や食事の配慮など「食事内容」で対応するだけでなく、「食べるための準備」も効果的です。今回は食べる前に行う、お口の体操について紹介しましょう。

お口の体操のやり方

こんな時にやってみよう!

- ・食べ物を噛んで喉に送り込みにくい
- ・食べ物が口の中に残る

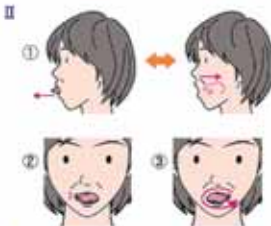
I: 口唇



① 口を開ける → 口を閉じる

② 横に引いて「いー」 → 前に突き出して「うー」

II: 舌



① 舌を出す → 引く

② 舌で左右の唇の縁を触る

③ 唇をぐるっと舐める

III: 頬



① 頬を膨らます → へこます

この体操には食べ物を喉に送り込みやすくなる効果があります。回数は状態に合わせて行いましょう。



【注意】異常がある場合や合わない場合などは必ず専門家の指導の下に行ってください。

病院からの お知らせ

◆ 出前講座のご案内

ヴォーリス記念病院では、地域の皆様の交流と健康づくりのお手伝いの一環として、当院医療スタッフが地域に出向き、医療や健康に役立つ専門的知識・技術などを紹介します。

地域の皆さまの健康保持増進や疾病予防などのお役に立てればと願っております。ぜひご利用ください。

【お問い合わせ】ヴォーリス記念病院 企画渉外課
TEL : 080-9590-5725 (直通)

※詳細は、ホームページにてご確認頂けます。



年に1回は受診しましょう！

脳ドック

目指せ
健康な
未来

脳卒中（くも膜下出血・脳出血・脳梗塞）は、永続する片麻痺や失語を起こすだけでなく、時には死亡することもあり、早期発見や予防は極めて大切です。

MRIでは隠れ脳梗塞・隠れ脳出血を見つけることができます。くも膜下出血の原因となる動脈瘤も1回の検査で同時にわかります。

高血圧症や糖尿病などの生活習慣病のある方や、くも膜下出血の家族歴のある方は是非この機会に脳ドックを受けられてはいかがでしょうか？

◆ 脳ドックの内容

- 頭部MRI・MRA
- 頸動脈超音波検査
- 血液検査
- 尿検査
- 問診、診察
- 身体計測

◆ 料金

31,900円(税込)

◆ 検査可能日

毎週 火・水・木 ① 9:00～／② 9:30～



【お申込み・お問合せ】

ヴォーリス記念病院 健診センター ☎ 0748-36-5467

受付時間 13:00～17:00 (月～土 * 祝日除く)

地域療養支援部

患者様やご家族様に住み慣れた生活の場で、安心して療養し生活を送って頂けるようサポートします！

- ・健康保険、介護保険等の社会保障制度について
- ・在宅での生活、介護についての不安
- ・施設の入所や利用について
- ・地域の病院、開業医の皆様からの受診、入院依頼

※総合受付の並びの4番相談窓口まで、お気軽にご相談ください。

TEL (0748) 32-5221 (直) / FAX (0748) 36-5412 (直)

〒523-0805 滋賀県近江八幡市円山町927-1

電話 : 0570-01-5211

FAX : 0748-32-2152 (代表)

* シャトルバス (無料送迎) あります。

● 編集後記 ●

今年も多くの新入職員が入職して下さいました。年代、経験、考え方など、様々な価値観を持った皆さん一人ひとりが働き甲斐を感じて頂けるよう、温かく見守っていきたく思います。まずは元気に挨拶をしていきたく思います。

【編集・発行】 公益財団法人 近江兄弟社 ヴォーリス記念病院 企画渉外課

公益財団法人 近江兄弟社 ヴォーリス記念病院